

# 平成 29 年度兵庫県老人クラブ連合会事業報告

## 第 1 基本方針

急速な少子高齢社会の進展に伴い、認知症高齢者や要介護者の増加、高齢者の社会的孤立から生じる孤独死等深刻な諸課題に直面している。

こうしたことから、「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動のもと、健康寿命をのばす継続的な健康活動とともに、地域で助け合い・支え合いの活動を行ってきた老人クラブに対しては、これまでの活動経験を生かせる「新地域支援事業」への参画等住みよい地域社会づくりの担い手としての期待は大きく、果たすべき役割は増大している。

また、老人福祉法施行から半世紀余経過し、制定当初と現在とでは、社会の状況や価値観は大幅に変わっていることから、今日的な「クラブのあるべき姿」を追求し、会員増強運動等において斟酌していくことが求められている。

「公益財団法人 兵庫県老人クラブ連合会」は、社会に開かれ信頼される老人クラブとして、地域高齢者の健康寿命をのばす健康づくりや介護予防活動、ひとり暮らし・高齢者夫婦世帯への声かけ等友愛活動並びに「新地域支援事業」における生活支援の担い手としての参加、子育て支援等次世代の育成や見守り、東日本大震災等の被災地支援活動、交通安全、高齢消費者被害防止、美化・環境にやさしい活動等を推進した。

また、市町老連会長研修会等により、ブロック・市町老連間の交流を図るとともに、市町老連や地域の老人クラブが、単独では実施しにくい諸活動を支援した。

さらに、組織の基盤である会員の増強に地域の実情に即した「2.5万人会員増強運動」（平成 26 年度から平成 30 年度）を積極的に推進した。

## 第 2 重点事業

- 1 高齢者の健康づくり・生きがいくくり事業の推進
- 2 高齢者の福祉増進のための人材育成及び普及啓発事業の推進
- 3 高齢者問題に関する調査・研究事業の推進
- 4 市町老人クラブの強化育成事業の推進

## 第 3 事業内容

### 1 高齢者の健康づくり・生きがいくくりに関する事業

#### (1) 健康づくり・介護予防事業

県下 9 ブロックの老人クラブ連絡協議会と共催で高齢者の健康づくり・介護予防の推進を目的とした研修会や実践活動等を実施した。

ブロック名	開催日	開催地	参加者数	内 容
阪神南	H29年11月13日	芦屋市	59名	公式輪投げ講習会
阪神北	H29年10月27日	川西市	108名	グラウンド・ゴルフ大会
東播磨	H30年3月13日	播磨町	63名	高齢者の心と身体の変化に関する講演会
北播磨	H29年11月20日	小野市	60名	ペタンク実技研修
中播磨	H29年10月31日	福崎町	170名	グラウンドゴルフ大会
西播磨	H30年1月19日	太子町	54名	トリコロキューブ研修会
但馬	H29年11月7日	豊岡市	166名	グラウンド・ゴルフ大会
丹波	H29年7月3日 11月21日	丹波市 篠山市	60名 60名	音楽療法について 健康寿命～100歳まで歩ける体力づくり DVDによる学習
淡路	H29年10月12日 11月8日 11月21日	洲本市 洲本市 南あわじ市	400人 40人 600人	スポーツ振興大会 ゲートボール大会 グラウンドゴルフ大会

## (2) 若手委員が取り組む老人クラブ活性化事業の推進

丹波ブロックの陶芸の体験で交流

県下の老人クラブ活動の活性化、強化のため、若手委員が協力して取り組む活動の促進を図ることを目的とし、各ブロックの若手委員が中心となり、いきいきクラブ体操等の普及を含め事業を実施した。



ブロック名	開催日	開催地	参加者数	内 容
阪神南	H30年2月9日	西宮市	57名	ポールウォーキング講習会
阪神北	H29年11月13日	伊丹市	77名	高齢者にとって体操の必要性の講演と実技指導、いきいきクラブ体操・ニュースポーツ研修会（マグダーツ・室内ペタンク・囲碁ボール）
東播磨	H29年11月17日	播磨町	71名	①認知症予防と生活習慣についての講義②脳はつらつゲーム③回想法
北播磨	H29年10月2日	加西市	61名	百歳体操とおしゃれセミナー
中播磨	H29年12月13日	福崎町	40名	認知症予防に向けた運動
西播磨	H30年2月27日	赤穂市	45名	いきいきクラブ体操・体力測定・室内カーリング競技・安全吹き矢
但馬	H29年11月17日	豊岡市 香住町	41名	山陰海岸ジオパークツアー
丹波	H29年11月21日	篠山市	60名	丹波立杭焼の歴史を学び、陶芸を体験
淡路	H29年10月12日 11月8日 11月21日	洲本市 洲本市 南あわじ市	400人 40人 600人	スポーツ振興大会 ゲートボール大会 グラウンドゴルフ大会

### (3) 第4回健康ウォークラリー県大会の開催

高齢者の健康増進、自然観察や史跡巡り、まちの探索を楽しみながら交流の輪を広げ、太子町老連及び西播磨ブロック老連協の協力のもとで開催した。

○ 開催日 平成29年11月6日(月)

○ 開催場所 あすかホール

(揖保郡太子町鶴)

○ 参加者数 43チーム(各5名)215名

総参加者数 290名

○ 内容

史跡などの5ヶ所の観察ゾーンでの問題やチェックポイントでのゲーム等と時間を2時間29分に

あらかじめ設定し、楽しみながらチームのコミュニケーションが図れるよう企画した。コース途中では、太子町老連女性部が甘酒で接待し喜ばれた。

○ 競技結果

第1位 : いなみコスモス(稲美町老連)

第2位 : 内蔵助(赤穂市老連)

第3位 : ひまわりシニア太子(太子町老連)

CP「天高く飛ばそう」のスリッパ飛ばし



### (4) 第5回グラウンド・ゴルフ県大会・交流戦の開催

高齢者の健康維持増進と会員相互の親睦を深め、交流の輪を広げることを目的に、淡路市老連及び淡路ブロック老連協の協力のもと開催した。

○ 開催日 平成29年10月4日(水)

○ 開催場所 淡路佐野運動公園

(淡路市佐野新島)

○ 参加者数

・県大会(団体) 37チーム(各6人) 222名

・交流戦(個人) 104名

・スタッフ等 約35名

○ 競技結果

・県大会(団体)

優勝 : 青野原町GGC(加西市)

準優勝 : ひまわりシニア太子(太子町)

第3位 : 岩屋(淡路市)



- ・交流戦（個人） 優勝：石上 保（淡路市）  
準優勝：内村 豊美（淡路市）  
第3位：菅原 正幸（太子町）

#### (5) 高齢者ニュースポーツ活動の促進

高齢者の健康維持増進のため体力測定、スポーツを通じて地域住民との交流による生きがいづくりや外出機会、社会参加の促進を目的に気軽に誰もが自由に行える生涯スポーツとしてニュースポーツの普及に努めた。

#### (6) みずほ教育福祉財団助成事業「老人クラブ介護予防・健康づくり支援事業」の実施

リーダー養成を通し市町老連の組織強化やキャンペーンイベントを通じた老人クラブPRと会員増強をねらいとして、5市老連が介護予防・健康づくりに関する総合的な学習を、モデル的に取組んだ。

モデル老連：伊丹市老人クラブ連合会・三木市老人クラブ連合会  
加西市老人クラブ連合会・篠山市老人クラブ連合会  
丹波市老人クラブ連合会

#### (7) 高齢者による地域の子どもの見守り、防犯、消費者被害・詐欺対策、美化環境にやさしい活動、交通安全指導などの社会貢献活動の推進

##### 1) 子どもの見守り活動への取組み

学童の登下校時の交通安全の見守りと声かけや後援などで遊ぶ子どもたちとの交流や見守り活動に取組んだ。

##### 2) 消費者被害・詐欺対策への取組み

振り込め詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺、投資詐欺等）や悪質商法などの防犯啓発活動を展開すると共に、各種研修会や広報紙「きずな」、ホームページによる広報・情報提供等を通じて活動の普及啓発に努めた。

##### 3) 美化・環境にやさしい活動への取組み

住み慣れた街をより美しくすみよいまちづくりを目指し、公園、道路、寺社等の公共的施設等において、清掃、除草、樹木の剪定、花壇づくりによる花いっぱい運動や資源ごみの回収、不用品のリサイクル運動等美化・環境にやさしい活動に取組んだ。

##### 4) 交通安全対策への取組み

各種研修会や広報紙「きずな」、ホームページ等を通じて交通安全の普及啓発に努めた。

また、会員が日頃の活動の場で、「交通安全ワンポイントアドバイス」により交通安全の呼びかけを行い、交通安全思想の普及・啓発を図るため、交通安全ワンポイント指導員講習会を実施した。

- 開催日 平成30年3月7日(水) (第2回評議員会終了後)
- 開催場所 兵庫県民会館
- 受講者 30名
- 内容 交通事故の発生状況、わき見運転、高齢者の道路横断、運転免許証返納制度等について

講師：兵庫県企画県民部地域安全課交通安全室 山本 圭一

## (8) 祖父母世代による育児や子育て支援活動、在宅福祉を支える友愛活動等による地域の安全・安心暮らしづくりの推進

### 1) 子育て支援活動について

地域の伝統行事や昔遊びの伝承、子ども達との餅つき大会や、花・野菜づくり、スポーツ交流等祖父母世代と孫世代とのふれあい世代間交流により、すこやかな子育て支援活動に取り組んだ。

### 2) 友愛活動等による地域の安全・安心暮らしづくりの推進

一人暮らしや寝たきり高齢者、高齢者世帯、施設入所者のお見舞い訪問等により、声かけや話相手、見守り、安否確認、外出支援など友愛活動を展開し、閉じこもり防止や孤独死予防などに取り組んだ。

## (9) 「老人の日(9月15日)・老人週間(9月15日～21日)」 「社会奉仕の日(9月20日)」における実践活動の推進

「老人の日(9月15日)・老人週間(9月15日～21日)」は、老人クラブが展開する「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動を中心として諸活動を行った。

また、老人週間を契機に全国一斉の「社会奉仕の日(9月20日)」に公園、公共施設などの清掃、花づくり等の美化、資源ごみの回収などの環境にやさしい活動にも、関係団体と連携をとりながら、活発な社会貢献活動を展開した。

## 2 高齢者の福祉の増進のための人材育成及び普及啓発に関する事業

### (1) 兵庫県高齢者の集い

兵庫県との共催により、第一部の式典では、90歳以上の高齢者特別賞をはじめ老人クラブ育成功労者、優良老人クラブ等の知事表彰及び県老連会長表彰・感謝、並びに健康づくり・介護予防活動など5つの実践活動推進の取組についての大会宣言を行った。第二部では、老人クラブによるサークル活動の成果を発表した。

- 開催日 平成29年9月21日(木)
- 開催場所 兵庫県公館
- 参加者数 約600名



大会宣言

○ 内 容

第1部 式典

- ・知事表彰・県老連会長表彰・感謝
- ・大会宣言 県老連副会長・女性委員長 古家 憲子

第2部 サークル活動発表

- ・舞踊 西脇市老連「はなみずきの会」
- ・トーンチャイム演奏 三木市老連「パールみきい」

(2) 兵庫県知事と県老連との意見交換会

本年度は、兵庫県高齢者の集い開催前に、「兵庫県知事と県老連との意見交換会」を開催し、地域の活動や課題について、9ブロック老連代表と県老連女性・若手委員長が発表し、知事から助言がありました。

(3) 高齢者リーダー等の養成事業

老人クラブでは、会員数が減少傾向にある中で地域の担い手として、クラブの活性化と会員加入増進運動に取組み、一層の組織強化が求められている。

そこで地域の老人クラブの力を活かす方策を模索する一助とし、情報交流を深め、これからの老人クラブを共に考えた。

金川会長の事例発表



1) 市町老人クラブ連合会会長研修会

- 開催日 平成29年7月4日(火)  
～5日(水)
- 開催場所 舞子ビラ神戸
- 参加者数 市町老連の会長 38名
- 内 容

◇ 課題提起「老人クラブの現状と会員増強運動の課題等」

兵庫県老連専務理事兼事務局長 小前 裕一

◇ 事例発表

① 「加古川市老連の現況」 加古川市老連会長 金川 寛

② 「太子町老連 組織活動の充実に向けて」

太子町老連副会長 櫻井 公晴

◇ グループ討議「会員増強と地域の課題」

◇ 全体会

◇ いきいきクラブ体操

◇ 行政説明「高齢社会の現状と健康づくり」

兵庫県健康福祉部少子高齢局高齢対策課副課長 前田 剛

◇ 講演「歌い継ぐ語り継ぐ」

(公財) 兵庫県人権啓発協会 研修講師

高田 光裕

2) 市町老人クラブ連合会女性・若手リーダー研修会（拡大4ブロック）

市町老連の女性・若手リーダーを対象として、今後の老人クラブの運営・活動の中心的役割が担えるようリーダーを養成する研修会を県下4ヶ所で開催した。

ブロック名	開催日	開催地	参加者数
阪神南・阪神北	29年7月27日（木）	西宮市	52名
東播磨・北播磨・淡路	29年8月8日（火）	明石市	72名
中播磨・西播磨	29年7月13日（木）	たつの市	42名
但馬・丹波	29年7月19日（水）	養父市	44名

3) 新任会長・新任事務局長（担当者）等研修会

老人クラブ活動の円滑な支援にあたるため、市町老連の新任会長・事務局長（担当者）を対象に開催した。

○ 開催日 平成29年5月31日（水）第1回評議員会終了後

○ 開催場所 兵庫県民会館

○ 参加者数 市町老連新任会長・事務局長担当者 21名

○ 内 容

◇ 「老人クラブの歴史と現状・課題並びに組織・事業・事務局の役割」

兵庫県老連専務理事兼事務局長 小前 裕一

◇ 「平成29年度老人クラブに対する補助等について」

兵庫県健康福祉部高齢社会局高齢対策課副課長 前田 剛

(4) ふれあいの祭典（健康福祉まつり）出展参加

上郡町で開催された「西播磨ふれあいフェスティバルにおける健康・福祉まつり」に西播磨ブロック老連と県老連女性・若手委員が出展参加した。

○ 開催期間 平成29年10月28日（土）～29日（日）

○ 開催場所 播磨科学公園都市芝生広場

○ テーマ 「お腹一杯・掘り出し物一杯・綿菓子づくり」

○ 内 容

・ 県老連：各市町から提供された商品を、チャリティバザーで販売

・ 西播磨ブロック：

焼きそば、豚汁、フランクフルト、綿菓子づくり、輪投げの体験、竹とんぼづくり、地域の特産品の販売、凧づくり等

(5) 広報紙「きずな」の発行及びホームページによる広報・情報提供

県老連、市町老連が行う研修会や大会、健康づくり・介護予防活動、子育て支

援、友愛・奉仕などの地域貢献活動、ユニークな活動の取組事例紹介等を広報紙「きずな」及びホームページに掲載するとともに、行政からの高齢者福祉関連情報、交通安全、消費者被害防止等の広報・情報提供による普及啓発にも積極的に取り組んだ。

#### 1) 広報紙「きずな」の発行

- ・発行：年2回（10月、3月）各約12万部
- ・配布先：各市町老連、全国都道府県市老連、県・県議会・市町福祉行政機関、福祉関係団体、県内高齢者大学、県立図書館等

#### 2) ホームページの充実

老人クラブの組織や活動を紹介し、「ブロック・市町老連等の活動」ページには、年間を通してブロック・市町老連が直接更新し速報性を活かし、タイムリーな情報発信等により広報活動の充実に努めた。

#### (6) 老人クラブ会員章の普及

老人クラブの会員意識の高揚や連帯感の醸成をより一層促進するため、「会員1個」を目標に会員章の普及を図り、老人クラブの発展に向け、老人クラブ会員による拠金活動を行った。

◇ 普及数      会員章      平成29年度 95個      累計 147,770個

### **3 高齢者問題に関する調査・研究事業**

#### (1) ブロック・市町老人クラブ連合会便覧の作成

各ブロック・市町老連の組織、運営、財政、活動状況等を実態調査し、可能な限り数量化し取りまとめ、便覧として作成した。今後の老人クラブ活動の活性化や会員増強のための基礎資料として活用出来るよう、各老人クラブのほか関係者、関係機関等に配布した。平成30年3月 200部（各市町老連へ配布）

#### (2) 老人クラブ関係資料集の作成

県老連事業運営の円滑な推進と老人クラブの活性化等に資することを目的に、県老連の概要や定款、事業計画をはじめ、関係法令、規程、通達等とともに、高齢者に関する、全国・兵庫県の諸統計資料等を取りまとめた資料を作成した。

平成29年6月 200部（各市町老連へ配布）

### **4 老人クラブの強化育成に関する事業**

#### (1) 老人クラブ会員加入促進活動の推進

全老連提唱の「100万人会員増強運動」に呼応し、「2.5万人会員増強運動」として、解散防止、新規会員開拓や未結成地域での新規クラブ立ち上げ等各地域での課題の点検・対応により、組織の活動基盤である会員増強運動を積極的に推進



した。

	平成 27 年 4 月 1 日	平成 28 年 4 月 1 日	平成 29 年 4 月 1 日
クラブ数	4,058 クラブ	3,988 クラブ	3,877 クラブ
会員数	234,048 人	226,359 人	218,603 人

## (2) 市町老連の活動に対する支援

### 1) ブロック地区強化費の活用

老人クラブ活動組織の活性化等を図るために各ブロックに対し、地区強化費(1ブロック平均 18 万円×9 ブロック)を助成した。

ブロック内市町老連の連携を密にするため、ブロック主催協議会・交流会を開催し、「ブロック地区強化費」を効果的に活用した。

- ① ブロック連絡協議会 (各ブロック 4 回程度)
- ② 女性交流会・研修会 (各ブロック 2 回程度)
- ③ 若手交流会・研修会 (各ブロック 2 回程度)

### 2) 事務手数料の交付

本会の運営に係る事務処理を円滑に行うため、市町老連に対し本会事務に要する経費の一部を助成した。

## (3) 単位クラブ・市町老連活動支援事業 (のじぎくクラブ兵庫助成事業)

老人クラブ活動の活性化と地域の元気づくりを図るため、新たな事業をり組む単位クラブ又は市町老連等に対し、事業費を助成した。

平成 29 年度助成対象クラブは次の 4 団体 (応募 13 団体)

- ・ 畠中にじの会 (伊丹市)  
「認知予防・介護予防事業 (憩の家・演芸ボランティア・喫茶ボランティア・メンズクック)」
- ・ 染河内地区老人クラブ (宍粟市)  
「染河内の歴史・話しことばと方言の伝承活動」
- ・ 三保老人クラブ松葉会 (朝来市)  
「小学 5 年生との米作り体験事業」
- ・ 塩屋きずなクラブ (洲本市)  
「会館 365 日活用で見守りと自主講座促進事業」

## (4) 各種団体等との交流

### 1) 第 46 回全国老人クラブ大会

- 開催日 平成 29 年 10 月 18 日(水) ~19 日(木)
- 会場 ロームシアター京都・みやこメッセ
- 参加者 兵庫県老連より 43 名 全国より 1,650 名

○ 内 容

[第1日目]

◇ 活動交流部会

第1部会 老人クラブ活動を新地域支援事業に活かす

第2部会 組織的推進による会員増強運動の展開

第3部会 演じる活動（舞台発表）

本会から、芦屋市老連メンズコーラスが出演

[第2日目]

◇ 講演

「心の荷物をおろす108の知恵」

真宗大谷派僧侶・アナウンサー

川村 妙慶氏

◇ アトラクション

宮津祭「浮太鼓」

◇ 式典

・表彰

・宣言朗読

・次回第47回大会開催地報告（沖縄県）



芦屋市老連メンズコーラスの発表

2) 第30回全国健康福祉祭あきた大会（ねんりんピック）

○ 期 間 平成29年9月9日（土）～12日（火）

○ 場 所 秋田市（総合開会式等）

仙北市角館（ウォークラリー交流大会）

○ 参加者 兵庫県選手団 180名

（内県老連参加者は、副団長の中村会長、事務局とウォークラリー交流大会選手として公募者5名がのじぎくクラブ兵庫チームとして参加）

3) 近畿ブロック老人クラブリーダー研修会

○ 開催日 平成29年6月8日（木）～9日（金）

○ 会 場 堺市 ホテルアゴーラリージェンシー堺

○ 参加者 285名（うち兵庫県老連から21名）

○ 内 容

[第1日目]

◇ 基調報告 全国老人クラブ連合会参事 河野 敦子

◇ 研究討議

第1分科会

「健康長寿と老人クラブ活動」

第2分科会

「新しい総合事業と地域支え合い活動」

座長 兵庫県老連会長 中村美津子

第3分科会

「老人クラブ活動における地域団体との連携」

第4分科会

「会員増強運動の成果と課題」

芦屋市老連の取組を芦屋市老連 大嶋三郎会長が発表

[第2日目]

◇ 講演 「笑いは百薬の長」 関西大学人間健康学部教授 森下 伸也

◇ 全体会 各分科会結果発表・意見交換

4) SC大阪とのじぎくクラブ兵庫との交流会

○ 開催日 平成29年12月22日(金)

○ 会場 大阪府社会福祉会館

○ 参加者 28名

大阪府老連 17名

兵庫県老連 11名

○ 内容

◇ 若手委員会活動報告

大阪府老連と兵庫県老連の  
事務局長から説明

◇ 活動発表

伊丹市老連 望月若手委員

長から伊丹市老連若手部の活動報告を行った。

◇ レクリエーションとニュースポーツ（トリコロキューブ）で交流を図った。

トリコロキューブで交流



(5) のじぎくクラブ兵庫サポーター制度の導入

県老連事業を円滑に推進するため平成28年度からサポーター制度を設置。16人がサポーター登録され、県老連行事や災害支援活動等に協力した。

(6) のじぎくクラブ兵庫農園の開設

休耕田を利用して農作物を植え付けから収穫するまで、農作業を通じてボランティア同士が交流を図り、収穫物は、被災地への支援等に利用した。玉ねぎ（南あわじ市 不動氏農園）、黒豆・さつまいも（篠山市 紙谷氏農園）、あわじみかん（南あわじ市 武本氏農園）

## (7) 地震等災害対策の意識啓発及び東日本大震災等の被災地県・市老人クラブ連合会への支援活動

阪神・淡路大震災の経験を踏まえ、地震等災害の対策への意識啓発を図るとともに、東日本大震災等の被災地に対し、物心両面からの支援活動を進めた。被災地支援活動資金については、チャリティーバザー等を実施した。

## 5 会の運営

### (1) 役員会の開催

- 1) 評議員会 定例会 2回
- 2) 理事会 定例会 6回
- 3) 監事会 定例会 1回
- 4) 正副会長会 定例会 5回
- 5) 部会（総務財政、調査広報、企画事業） 定例会各 3回
- 6) 委員会（女性・若手委員会） 定例会各 3回

- 1) 評議員会 第1回 平成29年5月31日（水） 兵庫県民会館
  - ・平成28年度収支決算報告について
  - ・理事の選任候補者について
  - ・監事の選任候補者について
  - ・評議員の選任候補者について
- 第2回 平成30年3月7日（水） 兵庫県民会館
  - ・平成29年度収支補正予算について
  - ・平成30年度事業計画について
  - ・平成30年度収支予算について
  - ・公益財団法人兵庫県老人クラブ連合会公印規程の制定について

- 2) 理事会 第1回 平成29年5月16日（火） 兵庫県民会館
  - ・平成28年度事業報告について
  - ・平成28年度決算報告について
  - ・理事の選任候補者について
  - ・評議員及び監事の選任候補者について
  - ・平成29年度第1回評議員会の開催日程について
- 第2回 平成29年5月31日（水） 兵庫県民会館
  - ・会長・副会長の選任について
  - ・専務理事の選任について
- 第3回 平成29年6月16日（水） 兵庫県民会館

・兵庫県老人クラブ連合会会長表彰・感謝候補について

第4回 平成29年8月23日(水) 兵庫県民会館

・平成29年度兵庫県高齢者の集い並びに県知事と県老連との意見交換会について

第5回 平成30年1月17日(水) 兵庫県民会館

・平成30年度事業について  
・基本財産の運用について  
・会員増強運動の取組みについて

第6回 平成30年2月20日(火) 兵庫県民会館

・平成29年度収支補正予算について  
・平成30年度事業計画について  
・平成30年度収支予算について  
・諸規程等の一部改正について  
・公益財団法人兵庫県老人クラブ連合会公印規程の制定について  
・平成29年度第2回評議員会の開催について

3) 監事会 平成29年5月2日(火) 兵庫県民会館

・平成28年度事業報告及び収支決算報告等について監査

#### 4) 正副会長会

5回開催し、県老連の事業運営を円滑に推進させるため、理事会及び評議員会に提案予定の重要案件等の内容についての事前検討・協議をはじめ、日常業務に関する事項を適切に運営に反映させるための方針や業務執行の決定等の検討・協議などを行った。

#### 5) 部会

総務財政部会(3回)、調査広報部会(3回)、企画事業部会(3回)をそれぞれ開催し、県老連の総務財政の運営、調査と研究、広報活動、事業の企画全般と事業実施推進などについて検討・協議などを行った。

#### 6) 委員会

女性委員会(3回)、若手委員会(3回)を開催し、女性の老人クラブ活動への企画運営など積極的な参画や女性の特性を生かした活動の推進及び若手会員の斬新な発想を生かした老人クラブ活動の総合的かつ効果的な事業の推進等について、検討・協議などを行った。

### (2) ブロック・市町老連事務局長・担当者会議の開催

○ 開催日 平成30年2月23日(金)

○ 開催場所 兵庫県民会館

○ 参加者数 37 人

○ 内 容

◇ 「平成 30 年度老人クラブに対する補助等について」

県高齢対策課副課長 前田 剛

◇ 「平成 30 年度県老連関係事業の推進について」

県老連専務理事兼事務局長 小前 裕一

### (3) 表彰・感謝

#### 1) 県知事、県老連会長・感謝表彰並びに伝達

平成 29 年 9 月 21 日（木）に、兵庫県公館にて開催した「平成 29 年度兵庫県高齢者のつどい」の第 1 部式典において、下記の表彰（感謝）を行った。

##### ① 県知事表彰

- ・ 老人クラブ育成功労者 57 名
- ・ 優良老人クラブ 25 団体

##### ② 県老連会長表彰

- ・ 老人クラブ育成功労者 126 名
- ・ 優良老人クラブ 25 団体
- ・ 優良市町老人クラブ連合会 4 団体
- ・ 仲間づくり優良老人クラブ、市・町老人クラブ連合会 4 団体
- ・ 市町老連永年勤続職員 2 名

##### ③ 県老連会長感謝（協力者）

1 名

##### ④ 全老連活動賞・特別賞（伝達）

- ・ 活動賞・特別賞（100 万人会員増強運動） 4 団体

#### 2) 厚生労働大臣表彰・全国老人クラブ連合会会長表彰

平成 29 年 10 月 18 日（水）～19 日（木）京都府ロームシアター京都で開催された第 46 回全国老人クラブ大会において表彰された。

◇ 厚生労働大臣表彰

- ・ 育成功労者

有吉 一美氏（赤穂市） 中谷 孝子氏（尼崎市）

- ・ 優良老人クラブ・連合会表彰

養父市下八木老人クラブ 芦屋市老人クラブ連合会

◇ 全国老人クラブ連合会会長表彰

- ・ 育成功労者

宗野 博海氏（太子町） 山本 毅氏（上郡町）

福田 穰氏（養父市） 中村美津子氏（芦屋市）

- ・ 優良クラブ・連合会表彰

伊丹市老人クラブ連合会                      三木市老人クラブ連合会  
高砂市伊保町老人クラブ連合会      神河町老人クラブ連合会

・永年勤続

小西 初美氏（西脇市）

### 3) 総務大臣表彰

兵庫県老人クラブ連合会は、平成29年11月20日に地方自治功労団体として総務大臣表彰を受賞した。

## (4) 関係機関・団体との連携

### 1) 全老連・近畿老連協議会との連携

老人クラブ活動の充実強化を図るため、全老連・近老協主催の会議・研修等に参加し連携を図った。

### 2) 関係機関・団体との連絡協調

県関係並びに関係団体が主宰する福祉、保健、健康、医療、交通安全等高齢者に関わる審議会、協議会等に参画し連携を図った。

### 3) 予算確保要望の推進（国・県・県議会）

① 平成29年8月23日（水）兵庫県庁において、県老連正副会長が出席

し、県少子高齢局入江局長に対し、老人クラブ活動に関する平成30年度兵庫県予算編成について、県老連会長から井戸知事あての要望を行った。

② 平成29年9月20日（水）・平成30年3月19日（月）に、県議会自由民主党県議団に対しても、県と同様の内容で要望及び意見交換等を行った。

## (5) 老人クラブ傷害保険への加入促進

老人クラブ加入に合わせて傷害保険加入への積極的な働きかけを行った。

会員の万一の事故に備えた「老人クラブ傷害保険」の普及促進を図ると

共に、活動中に誰かをケガさせてしまった！モノを壊してしまった！等相手の損害を補償する「賠償責任保険」を促進し、前年度の保険料に対しての広告料を各市町老連に配分した。また、老人クラブ傷害保険契約実績が上位の2市老連に対して全老連より贈呈された。

芦屋市老人クラブ連合会、丹波市老人クラブ連合会

○ 老人クラブ傷害保険加入状況（平成30年3月末現在）

- ・全体クラブ数 3,877 クラブ    ・会員数 218,603 名
- ・加入クラブ数 741 クラブ    ・加入者数 15,490 名    ・加入率 7.09%
- ・保険料額 19,582,500 円    ・平均保険料 1,264 円

○ 賠償責任保険加入状況（平成30年3月現在）

- ・加入クラブ数 43 クラブ    ・保険料額 238,000    ・平均保険料 5,534 円